

UT-two/超音波ピッチキャッチ法

配管腐食検査

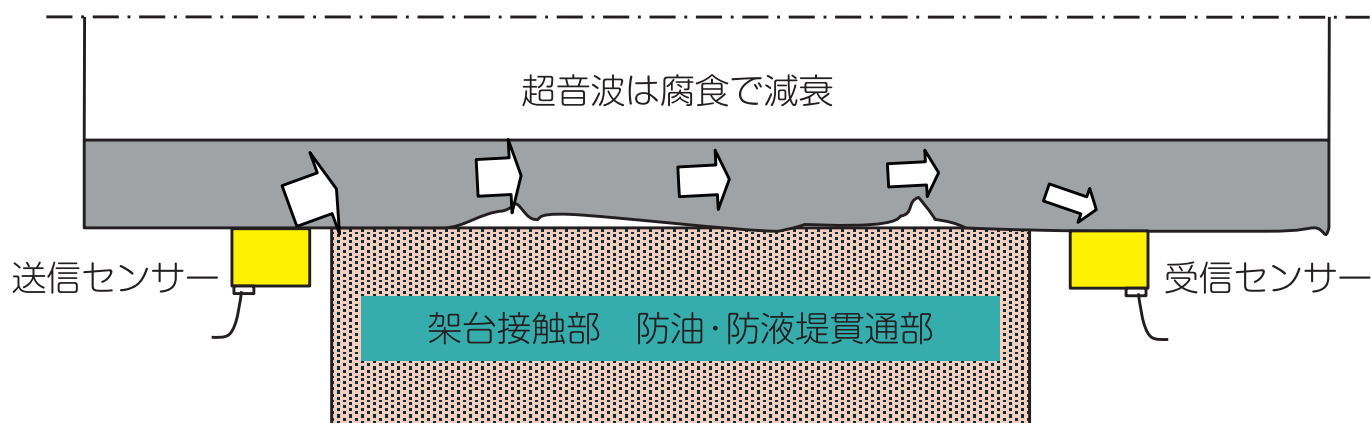
“UT-two”は、検査が困難な配管の防油・防液堤貫通部や架台接触部に発生する外面腐食状況を把握し、腐食の程度を評価します。腐食部分に超音波を送信伝播させて超音波の減衰・散乱による受信信号の変化をキャッチし、これを解析して、腐食の深さを求めます。



架台接触部の配管腐食調査状況



防油堤貫通部の配管腐食調査状況



UT-twoの特徴

- ①特殊な機器を用いることなく、**比較的容易に腐食検査が可能**です。
- ②**軸方向からの探傷**の為、防油堤、クランプ構造等、**腐食部の周方向からの探傷が不可能な場合でも適用可能**です。
- ③軸方向からの探傷により、**センサー間の距離を状況によって短縮**できる為、**腐食部からの情報がより多く得られ、精度向上**を図ることが出来ます。

評価概要

調査対象箇所を送・受信センサーで挟んで周方向に10mmピッチで走査しながら、データを採取します。

このデータと同位置環境にある健全部データとの比較により、腐食程度を評価します。

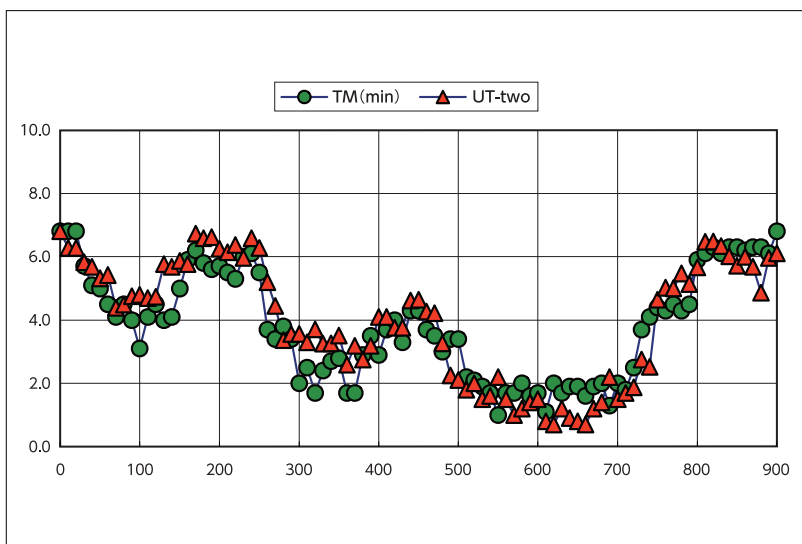
UT-twoによる調査及び検証例



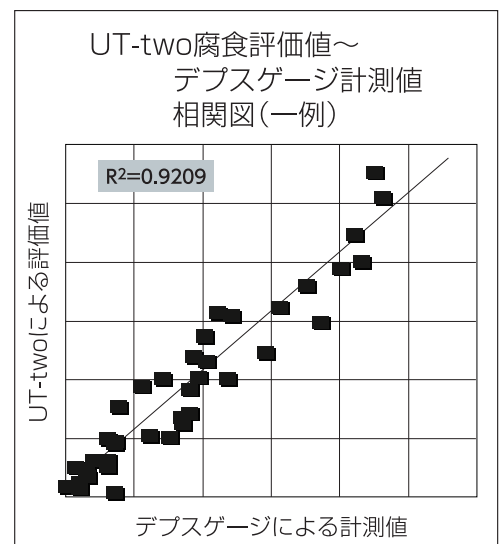
架台接触部配管の施工状況



配管腐食部(撤去清掃後)



架台接触部調査(例)



精度確認検証(例)